



こんにちは 豊前市議会です

就任のあいさつ



豊前市議会議長
尾澤 満 治

昨年11月4日開催の豊前市議会臨時会において、議長に選出されました。誠に光栄に存じますとともに、責務の重さに身が引き締まる思いであります。

市民の立場に立ち、真剣に議論をし、執行部と力を合わせ、市政発展に努めてまいり所存です。市民の皆様の身近な議会として、負託にしっかりと応えていきたいと思っております。

今後も変わらぬ市民の皆様の温かいご支援とご協力ご助言をお願い申し上げまして、就任のご挨拶と致します。



企業誘致特別委員会の研修会の様子
(株式会社スノーピーク 後藤 健市様をお招きして)

11月臨時会(11/4)・12月定例会(11/30~12/17)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要/令和3年11月臨時会議案審議結果	2~4P
令和3年12月定例会議案審議結果	5P
一般質問	6~10P
その他	11P
トピックス・編集後記	12P



議会へのご意見をお寄せください

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-8137 (直通)

ホームページ/<https://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

第5回臨時会

令和3年第5回臨時会は、11月4日の1日間の会期で開催されました。

臨時会には、市長より人事案件1件が提出され、提案のとおりに同意されました。

■教育委員会委員（任期4年）

豊前市大字八屋

高橋 眞弓



第6回定例会

令和3年第6回定例会は、11月30日から12月17日までの18日間の会期で開催されました。

本定例会初日に、市長より条例案件6件、補正予算4件、その他の案件3件の合計13件、また、一般質問3日目に、議員より意見書案3件が提出されました。

それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査され、議案第55号については、継続審査、その他は原案どおり、可決されました。

なお、議案第52号、議案第58号、議案第61号について、反対討論がありました。

最終日には、補正予算1件が追加提案されました。予算決算委員会にて審査され、原案どおり、可決されました。



文教厚生委員会の申し入れ事項

◎豊前市老人福祉センターについては、現状把握に努め、しっかりとした代替案を作成すること。

総務委員会の申し入れ事項

◎ふるさと納税については、成功している自治体をしっかりと調査・研究し、寄付金の増額に向け、新たな商品開発や情報発信など、より積極的に取り組むこと。また、企業版ふるさと納税についても、寄付金の増額に向け、より一層努力すること。

予算決算委員会の申し入れ事項

◎国際交流に関する予算については、先方に豊前市にはお金がないと伝えていと市長が議員に対し説明しているので、市の負担を極力小さくし、綿密な計画を立てた上で予算計上すること。また、計画についても議会にしっかりと説明すること。計画を進める場合は、先方の状況を十分に把握し、お互いの友好関係が保たれるよう連絡調整を密にすること。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会

◎黒江哲文○平田精一・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・爪丸裕和

文教厚生委員会

◎為藤直美○梅丸晃・村上勝二・秋成英人・郡司掛八千代・鎌田晃二・尾澤満治

産業建設委員会

◎秋成英人○福井昌文・梅丸晃・村上勝二・郡司掛八千代・平田精一・岡本清靖

予算決算委員会

◎福井昌文○村上勝二・梅丸晃・為藤直美・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・黒江哲文・平田精一・鎌田晃二・爪丸裕和

議会運営委員会

◎梅丸晃○為藤直美・村上勝二・黒江哲文・鎌田晃二・岡本清靖

議案第55号 豊前市老人福祉センターの設置及び 管理に関する条例の廃止について、継続審査に！！

文教厚生委員会に付託され審査が行われた議案第55号は、豊前市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の廃止についてでありました。

豊前市老人福祉センターの老朽化に伴う廃止でしたが、議員より、現状把握ができておらず、しっかりとした代替案も作成できていないなど、様々な意見が出され、賛成多数で継続審査となりました。

意見書第2号 シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

シルバー人材センターは高齢者の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的公共団体である。このような中、令和5年10月に消費税において「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入予定である。公益法人であるシルバー人材センターの運営は収支相償が原則であり、新たに税負担をする財源はないため、センターに及ぼす影響は極めて大きい。

そこで、公益法人シルバー人材センターを引き続き免除対象にするなど安定的な事業運営が可能となる措置を講じるよう、国へ強く要望しました。

意見書第3号 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する 法律の改正を求める意見書

障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)が平成24年10月1日に施行された。しかし、この法律では虐待発見時の行政機関への通報義務が、養護者、障害者福祉施設従事者及び使用者に課せられている一方、医療機関内での虐待については、発見者による行政機関への通報義務の対象外となっている。

そこで、国会及び政府に対し、この法律について、虐待発見時の行政機関への通報義務対象に「医療機関」における障害者虐待を加えることを、強く要請しました。

意見書第4号 性犯罪における刑法の更なる改正を求める意見書

平成29年に刑法の性犯罪規定が改正されたが、未だに性暴力の被害にあって泣き寝入りせざるを得ない人が大勢いて、もっと被害者を守る制度確立を実現するための法改正が課題となっている。また、多くの国で子どもの保護のために、性交同意年齢が引き上げられているが、わが国は13歳と低いうえ、子どもに対する性犯罪の重い処罰もなく、わが国の法律は子どもの保護の点で大きく立ち遅れている。

そこで、国会及び政府に対し、法の見直しについて、強制的性交等における暴力、脅迫、心身喪失、同意なき性行為を広く処罰の対象にすること。また、性交同意年齢を13歳から16歳に引き上げることを、強く要請しました。

《令和3年度一般会計補正予算の概要》

12月定例会では、11月30日と12月15日、17日の予算決算委員会で「令和3年度一般会計補正予算」の審査を行いました。委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第61号】 令和3年度豊前市一般会計補正予算(第9号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

(主な事業)

◇会計管理費(セミセルフレジ導入)	3,304千円
◇財産管理費(電子入札システム導入)	4,365千円
◇児童措置費(特別保育事業費)	5,200千円
◇PCR検査等費用補助金	1,530千円
◇総合交流促進施設整備事業	6,687千円
◇学校再編成基本計画策定業務委託料	8,390千円
◇農業用施設災害復旧費	3,000千円
◇林業施設災害復旧費	3,506千円

【議案第64号】 令和3年度豊前市一般会計補正予算(第8号)

国庫補助事業に係る経費について、可決しました。

◇子育て世帯等臨時特別支援事業	184,212千円
-----------------	-----------

【議案第65号】 令和3年度豊前市一般会計補正予算(第10号)

国庫補助事業に係る経費について、可決しました。

◇子育て世帯等臨時特別支援事業	179,650千円
-----------------	-----------

令和3年11月臨時会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案 番号	議案等の名称	審議 結果	梅丸	村上	為藤	内丸	秋成	郡司	黒江	平田	福井	鎌田	岡本	尾澤	爪丸	賛 成	反 対
			晃	勝二	直美	伸一	英人	八千代	哲文	精一	昌文	晃二	清靖	満治	裕和		
同意案 第4号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

令和3年12月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案 番号	議案等の名称	審議 結果	梅丸	村上	為藤	内丸	秋成	郡司	黒江	平田	福井	鎌田	岡本	尾澤	爪丸	賛 成	反 対
			晃	勝二	直美	伸一	英人	八千代	哲文	精一	昌文	晃二	清靖	満治	裕和		
議案 第52号	豊前市印鑑条例の一部改正について	原案 可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	10	1
議案 第53号	豊前市国民健康保険条例の一部改正について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案 第54号	豊前市国民健康保険税条例の一部改正について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案 第55号	豊前市老人福祉センターの設置及び管理に関する 条例の廃止について	継続 審査	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	議長	欠席	8	3
議案 第56号	豊前市手話言語条例の制定について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案 第57号	豊前市農地中間管理機構関連農地整備事業に係る 特別徴収金に関する条例の制定について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案 第58号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変 更について	原案 可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	10	1
議案 第59号	指定管理者の指定について（豊前市市民会館）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案 第60号	指定管理者の指定について（豊前市立多目的文化 交流センター）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案 第61号	令和3年度豊前市一般会計補正予算（第9号）※	原案 可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	10	1
議案 第62号	令和3年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正 予算（第2号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案 第63号	令和3年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計補 正予算（第1号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案 第64号	令和3年度豊前市一般会計補正予算（第8号）※	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案 第65号	令和3年度豊前市一般会計補正予算（第10号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
意見書案 第2号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見 書について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
意見書案 第3号	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援 等に関する法律の改正を求める意見書について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
意見書案 第4号	性犯罪における刑法の更なる改正を求める意見書 について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0

※議案第64号は、令和3年度豊前市一般会計補正予算（第9号）として上程されましたが、議案第61号 令和3年度豊前市一般会計補正予算（第8号）より先に原案可決されたことから、議長が豊前市議会会議規則（昭和43年議会規則第1号）第43条の規定に基づき、条項、字句、数字その他の整理を行い、同議案と補正予算の号数を入れ替えています。



議長
尾澤 満治



副議長
郡司掛 八千代

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『無党派議員』の一般質問

【質問項目】

(梅丸晃議員)

- ① うみてらすの海業としての今後の展望
- ② 天地山公園を官民連携で稼げる公園に
- ③ 消防団車輛に水のう袋の積載を

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① これまでに人口減少対策として取り組んだ事例と成果
- ② 地域コミュニティと防災

【質問項目】

(村上勝二議員)

- ① コロナ第6波を想定した感染対策と生活支援の拡充を
- ② こどもの「学び」をとめな教育行政を
- ③ 地球温暖化対策
- ④ ジェンダー平等のとりくみ、推進を

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

うみてらすの海業としての今後の展望について



梅丸 晃

梅丸議員 うみてらすは、今年で丸5年が経過した。漁業としての施設運営は、現在まで業績も好調で、食と生産分野での水産業としての強みを今後ますます伸ばして頂きたいと考えている。今後は観光要素を盛り込んだ運営を農林水産課だけでなく、商工観光課も横並びで支えていくことが必要だと考える。豊前市には、大きな椅子の設置以来、多くの人が写真撮影に來られ、インスタ映えスポットとして豊前市の交流人口の一翼を担っている。このようにオブジェやペイント、そして大きなシリーズをストーリーとしてつなげる観光促進について、執行部に伺いたい。

農林水産課長 防波堤へのイラストペイントについては、管理所有している県土整備事務所との協議が必要になるが、地元漁協等の賛同があれば可能だと思ふ。また、ペイントの規模、内容によっては、周辺への影響、環境を乱したり、風紀に大きな影響を及ぼすことが想定されるので、漁業者、地区住民、漁業協同組合や宇島振興協会の意見等を聞いて、どのような仕掛けづくりがよいか、関係課と検討したいと思ふ。

梅丸議員 海と山を繋ぐ提案として、うみてらすで定期的に山で採れた旬の物を販売する軽トラ市の開催を行ってみてはいかがか。

農林水産課長 うみてらす敷地内の出店については、営業を阻害するようなものではなければ可能である。中山間地域の軽トラ市

の主催者に、呼びかけたい。梅丸議員 インスタ映えするオブジェや顔ハメのパネルなど、小さいことで構わない。その効果を侮ることなく、進めて頂きたい。また、#大きな椅子、#大きな机など、大きなシリーズでストーリーを作り、海から山へと人流を起こしていく、豊前市に向かう目的地となるうみてらすから、地域内経済循環を起こしていく仕掛けづくりを考え、観光としてのうみてらすの可能性、ポテンシャルを十分に活用していただきたい。そして、海と山の人の交流も含めて、海も山もある、豊かな豊前市の幸を提供できる、環境整備も併せて願う。



これまでに人口減少対策として 取り組んだ事例と成果



為藤 直美

にある住みよいまちにするための、豊前市全体を形成するに当たり、交通網の整備等、複合的に考えるところである。

為藤議員 豊前市の大きな課題となる学校再編で見えてくる未来のまちづくりについて、お聞きしたい。人口減少に伴い児童数の減少、14校を4校にと11月23日に新聞報道があった。多くの人の意見や協議を重ねての計画だと思う。また、コロナ禍でデジタル化が進み、どこにいてもできる仕事も増え、自然を求め、生活拠点も都会から地方への流れもあり、人口減少にある我が豊前市においても、都市計画はどのように進めているのか伺いたい。

産業建設部長 学校再編については、今後地域の住民、保護者、いろいろな人と協議が進んでいくと考えている。マスタープラン

在り方を打ち出すには、今が一番大事な時期だと考える。今こそ豊前市のチャレンジ、力を集結して頑張って頂きたいと思うが、教育長一言伺いたい。

教育長 これからの豊前市の10年、その先の20年を考えてときに、第6次総合計画でいろいろな取り組みをどう盛り込むべきか、その一つが学校再編だと考えている。これからの地域活動は、子どもを含めた3世代でどういうことができるかそういった視点を盛り込むべきだと思う。

為藤議員 全ては未来の豊前市のために、是非皆さんで力を合わせて、前向きに取り組んでいただきたいと思います。

市長 今の現実を、現状を考えて、できる限り我々が到達するところを早く見つけて、示していく、これが肝要であると思っている。議会の御意見を聞き、方向性を決めていければと思っている。

為藤議員 この自然豊かな豊前市と新しい教育の



いづれもの「学び」を とめない教育行政を



村上 勝二

いかという結論だった。
村上議員 この審議会では、角田は小中一貫校、合右小中は小規模特認校として推進を図るとあるが、どうなったのか、お聞きする。

教育長 小規模校の魅力発信して児童数・生徒数を確保する取り組みを進めているが、残念だが、人数を増やすという願いはかなわなかった。角田小・中は距離が近いので、より関係を深めるにはどうするのかという議論にとどまったところだ。

村上議員 10月に区長会や市政報告会で説明したと言いが、この報道は市民の意見を聞いた結果ではなく、議員の意見も反映されていない。現状や課題がどうあれ、議会軽視と私は受け止めている。これは豊前市のまちづくりの根幹に関わることであり、子どもの未来を左右する問題である。また、市民の意見を今

教育長 当時、大規模な事業を実施するという経済的な裏付けもなく、1校を作ることは難しいのではな

から聞くという時に先行して予算を計上することは、まさに再編計画の強行だと思いが、いかがか。

教育長 以前より、議会には進捗状況等の説明を行っており、理解していると認識していたが、唐突感や疑念を抱いたのであればお詫びする。5年10年後の小・中学生は激減することが分かっており、校舎も建設してから30～40年が経過する。豊前市のこれからの人口規模や経済状況を考え、持続可能な学校体制や魅力ある教育の提供について、今後は丁寧に説明していきたい。

村上議員 教育長は特色あるカリキュラムを組み、近隣からも選ばれる学校、魅力ある子どもたちを育てたい、反論を予想して丁寧に説明したいと言われた。地域の中で学校の存在は重要な位置を占めていて、子どもの学びをとめないことが大事である。たくさん議論をして地域・子ども・教師・PTAなど多くの市民の皆さんの合意と納得が得られるように、私も共に努力していきたい。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『平成会』の一般質問



鎌田 晃二



福井 昌文



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一



秋成 英人

【質問項目】

- ① 骨髄等移植ドナー (秋成英人議員)
- ② ジェンダーレス (福井昌文議員)
- ③ 将来の市政運営 (内丸伸一議員)
- ④ 市民サービス (黒江哲文議員)
- ⑤ 市政方針と市民対応業務 (鎌田晃二議員)
- ⑥ 安心の街づくり

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご閲覧ください。

市議会会議録はこちらから

[豊前市議会](#) [検索](#)

骨髄等移植ドナーについて

秋成議員 福岡県では、28市町村が、骨髄の提供者に1日2万円を7日分まで支給する骨髄等移植ドナー助成制度を導入しているが、有給休暇を使った会社員、主婦や無職の人は対象外である。また県から企業へ、ドナーとなった従業員が安心して骨髄を提供できるように、有給休暇となる骨髄ドナー休暇の導入を呼び掛けているが、現時点で設けている企業はほとんどない。体験談によると、事前の検査や面談・手術等で退院後の検査までに、延べ10日間を要するそうで、志があっても協力しにくく、心理的な不安以外に金銭面も気になるようで、こうした制度をもっと拡充して、ドナーになる決心をした人を後押しする社会になってほしいと語っていた。社会の理解が進むことが一番だと思いが、骨髄の提供を金銭面で断ることがなくなる

よう、豊前市でも助成すべきと考える。近隣では行橋市が実施しており、休業による経済的な負担軽減を行っている。助成金2万円のうち半分は県からの補助金があり、豊前市の負担はそう多くはないが、市長の考えをお聞きしたい。

市長 有名人の方々の白血病との闘いの姿を見ながら、本当に頑張れと応援したくなる気持ちは皆さんが共有するところだと思う。骨髄を提供するドナーの方々の力によって、また医療の進化によって命が救われている場面をたくさん見ることが出来る。私たちもそういう方々を一人でも救えるように、ドナー制度についてはしっかりと検討してきた。安心して、自分が人の命の救いになった、生きていてよかったとお互いに思える、そんな制度を活用していくために私たちができることはしっかりと支えていかなければなら

ない。いま準備をしているところである。

秋成議員 ぜひ実施に向けてお願いしたい。骨髄の提供はボランティアである。日本では提供者の死亡例はないが海外ではあるようで、後遺症が残ることもある。勇気をもって骨髄の提供を決意した方々に寄り添い、支えられる社会でありたいと願う。

市長 素晴らしい質問をしていただいた。我々も早く対応しなければと思うっており、背中を押していただいたことに感謝している。



将来の市政運営について

福井議員 少子高齢化が進む中、高齢者による車の事故等が全国的に多発している。免許証を返納

したいが、買物や病院の交通手段が必要であるため、返納できない方が豊前市には特に多いように感じる。また、返納時に交付されるタクシードラッグやバス利用券については、日常的に利用するには不十分であり、時間帯やバス停の位置などについて不便を感じる人もいる。以前より、私を含め何人も議員から同様の質問が出ていたが、一向に改善が見られないように思える。全国的に各自自治体が、市民の足の確保に取り組んでおり、市バスの利用者の減少により赤字が続いている今だからこそ、効率のいい乗合タクシーやデマンドバスなどへの方向転換を真剣に考える時期に来ていると思うが、いかがか。

市民福祉部長 市バスの赤字については、毎年約2千万円を一般会計から繰り入れている。ただ、公共交通は採算性だけで考えられないため、多面的に検討していく必要がある。

福井議員 赤字でも市民の足、インフラは止めることができない点については理解しているが、赤字で走らせるのは市にとって大変な負担である。様々な事例があるが、宇佐市では、職員が直接現地に行き、地域の方々と話し合い、現場を見ることによつて机上の検討では分からなかったことや思い違いをしていたことが分かったとの教訓を得られており、現地に向くことの重要性が改めて示唆されるなど、多くの市町は努力している。こういうことも見直す時期に来ていると思うが、今後の見解を聞きたい。

市民福祉部長 バス路線の見直しについても、様々な検討をしなければならぬが、住民との信頼関係が一番重要であり、住民の声を聞きながら丁寧に進めていきたい。

福井議員 市バスの運行については、無駄な部分が多分にあると思う。やはり需要の高い乗り合いタクシードラッグやコミュニティバスなどを今後取り入れ無駄を省く、そして利用者には喜ばれるような市バスの改革をお願いしたいが、市長の考えは。

市長 生活の基盤になる移動手段の確保は、住民サービスとして欠かせないところである。SDGsの環境面の考え方やデジタル技術の活用による利便性の向上、デマンドタクシーや地域が支え合うような仕組みについて、公共交通の会議を通して様々な意見を伺いながら豊前らしい姿を求めていきたい。

福井議員 今後の市バス事業については、タクシー事業者など、民間事業者としっかり協議して最良な方向になるよう取り組んでいただきたい。より効率のよい取り組みや市民の利便性の向上を目指すと共に、豊前市の将来のため、なお一層の奮起を執行部にお願する。

市民サービスについて

内丸議員 し尿前処理施設を広域で行うべきだと以前より言ってきたが、吉富・上毛両町との加入協議の進捗状況はどのようになっているか。

生活環境課長 吉富町、上毛町、吉富町外1町環境衛生事務組合の事務局等で協議を行っている。協議の内容で、特に上毛町の意見のようだが、現在の水道単価、140円を120円にできないか要望されている。また、機械導入や起債等を借りて豊前市が建てている現施設の応分負担についても、減らしてもらえないかという話もあった。

内丸議員 吉富・上毛両町の1日及び年間の搬入量は、どれくらいと想定しているか。

生活環境課長 令和2年度のし尿・浄化槽汚泥、農業集落も合わせて、総搬入量は年間9954m³で、365日で割った場合、概ね45.7m³くらいになる。

内丸議員 年間約10000m³、希釈水が16倍なので、ざっと計算して32

0万円の減になるが、この額を考慮することで広域でできるなら、考えてもよいと思うが、いかがか。

市民福祉部長 市としては、120円に必要な経費を付けて140円という提示をしているので、それ以上、それ以下でもないと考えている。

内丸議員 吉富・上毛両町と広域運営することで、豊前市の負担が3000万円ほど節約できると、6月、9月議会でも聞いており、すぐにでも広域でやるべきと考える。そうすれば、豊前市は負担減となり、節約できる金額が多少なくなっても、このまま単独運営を続けるよりましなら、融通を利かせて加入してもらうべきだと思うが、いかがか。

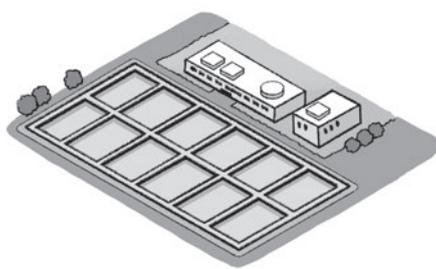
市長 私がここでどのような発言をするか、慎重にしなければならぬと思う。市民から、なんで我々の水道料金を下げてくれないんだ、という声が出かねない。いろんなところを総合判断していかなければなら

らないので、発言は慎重にさせていただきます。

内丸議員 私が所属する会派が上毛町長と話し合いを持ったとき、水道代が120円になれば加入してもよい、との返答ももらっている。目先の金より何年も先を見据え、決断することも市のトップには必要なことだと思う。豊前市民のことを思うのなら、私心を捨て、市民の代表者として英断し、広域運営を成功させていきたいと思うが、市長、いかがか。

市長 御意見として承る。

内丸議員 この事について、もう早急に豊前市の負担を少しでも軽くする、市民のためにお金が使えるように、しっかりと取り組んでいただきたい。



市政方針と市民対応業務について

黒江議員 市政方針の市民の対応業務では、市長の肝いり事業の生涯現役がある。その中でも口腔ケア事業に最も力を入れてきたが、身の丈に合っていないのではないかと、再三質問をしてきた。そこで、口腔ケア事業について、事業の目的、どのような成果が出たのか、現在の状況をお尋ねする。

市民福祉部長 口腔ケア事業は、生涯現役社会づくりの主要施策であり、生涯を通じて口腔ケアを推進することで、健康寿命の延伸を図り、健康長寿社会をつくることを目的としている。平成27年度から開始した在宅歯科訪問事業は7年目となり、令和2年度末で延べ223名が参加している。昨年は事業開始から5年となり、豊前築上歯科医師会、九州歯科大学の協力で実施報告書をまとめた。

黒江議員 当初、在宅歯科訪問のデータをシステムに入れて様々な推進事業に活用していくというこ

とであったが、システムとビックデータの活用はできているのか。

市民福祉部長 令和2年11月末で在宅歯科訪問システムの保守が切れたため、これを更新せず、既存のシステムを活用し、口腔ケア連携システムを職員の手で構築をしている。現状では、ビックデータの活用まで至っていない。

黒江議員 6年経ってビックデータの活用ができていないということだが、システム構築に総額でいくらだったのか。補助金を引いた市の持ち出しはいくらなのか。

市民福祉部長 備品購入費、システム費用、歯科医師会への委託料など、合計で3518万1千円、国の補助金が1918万4千円、市の持ち出しは、1599万7千円である。

黒江議員 この事業は、市長の肝いりで始まり、議会も賛成している。豊前市内の223名とデータの構築ではなく、何千名を対象とするような福祉施設や歯科

医師会等にお願いをし、予算を投資したほうが、より数千名と多くの市民が健康になるのではないかと。次に、国際交流について、市報にある市長の部屋では、築上館跡の件で商店街での多文化共生について書いていたが、商店街側は、市長の部屋で知らされても、どうすればいいかわからないとのことであった。市長、これは、商店街と協議したのか。

市長 可能性があるという意味で紹介している。

黒江議員 こういうことを先に口走るのではなく、まず豊前市がすべきことは、受け入れ側の環境整備ではないか。今回は、市政方針の優先順位は市民対応業務の整備が上位であるという思いの質問である。豊前市は予算が厳しいからこそ、市民のために汗をかき、市民に活用する予算を確保し、協働のまちづくり、官民連携を目指すなら、行政が市民への対応業務を強化しなくてはならないと思う。ぜひともこの提案が執行部に届きますよう期待を込めて、私の質問とさせていただきます。

医師会等にお願いをし、予算を投資したほうが、より数千名と多くの市民が健康になるのではないかと。次に、国際交流について、市報にある市長の部屋では、築上館跡の件で商店街での多文化共生について書いていたが、商店街側は、市長の部屋で知らされても、どうすればいいかわからないとのことであった。市長、これは、商店街と協議したのか。

安心の街づくりについて

鎌田議員 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引くなか、子どもや若者、女性の自殺者が増加し、DVやうつ、引きこもり、孤独死など社会的孤立の問題が深刻化している。私たち公明党は、

本年2月に社会的孤立防止対策本部を設置し、有識者や民間支援団体からのヒアリングや、国会議員と地方議員による全国の孤立の実態などの聞き取り調査により提言を取りまとめ、当時の首相と担当大臣に申し入れた。

その結果、骨太の方針では我が党の提言を踏まえ対策が数多く盛り込まれ、その1つとして、地域共生社会の実現に向け重層的支援整備事業など市町村における包括的支援体制の構築を進めると明記された。この重層的支援体制整備事業は、社会福祉法改正により創設された新たな事業であり、地域住民が抱える課題が複雑化・複合化し、従来の支援体制では解決が困

難な課題を、市町村が創意工夫を持って円滑に実施できる仕組みを構築することにより、高齢や障がい、困窮など、属性・世代を問わず包括的に支援することが可能となり、行政が支援したくてもできない、自分から困っていると言い出せない数多くの方々に支援の手を差し伸べることが可能となる制度である。市町村の任意事業であるが、ぜひ行っていたきたい。引きこもり状態の人たちの長期化、高齢化は全国的な傾向であるが、豊前市では引きこもりの方の掌握等はできているか、またその支援策等はあるのか。

福祉課長 県の実態調査により、市内の引きこもり状態にある方は、民生委員が把握している方で8人いる。今後は、引きこもり地域支援センターなどの相談窓口を周知し、関係事業所との情報共有をすることにより支援の重要性に関する共通認識を深めていきたい。

鎌田議員 国の事業には引きこもりのサポーターを派遣する制度があるが、豊前市では派遣の要請をしたことがあるのか。また、市には引きこもりに特化した窓口はないのか。

福祉課長 豊前市では現在まで応募者がいない状況である。専門の窓口は設置していないが、各部署において引きこもりの相談は受けている。

鎌田議員 支援体制としては、関係機関の連携が必要であり、豊前市でも支援拠点づくりが大事になってくる。ぜひとも前向きにサポート事業の検討をお願いする。

次に、全国的には若者が金銭理由で生理用品を買うのに苦労している状況があり、各地でサポート事業を行っているようである。生理用品については、手渡しでは受け取りづらい面もあるため、豊前市でも学校のトイレに置くことなどを検討していただきたい。様々提案、お願いをしたが、市民のために、ぜひとも前向きに検討をお願いしたい。

企業誘致特別委員会の経過報告

企業誘致特別委員会は、これまでに6回開催されました。この委員会は、市政活性化に向けて、企業誘致を促進するものです。主な内容は以下のとおりです。

第5回(10月28日開催)

工業用地の造成や企業誘致可能施設の整備に関して、前回までの課題や問題点を洗い出し、今後の企業誘致の方向性について、執行部と意見交換をしました。

第6回(11月16日開催)

株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング代表取締役会長の後藤健市様をお招きして、「野遊びによるSDGs型事業 グローバル時代の地方(田舎)の価値とその活かし方」と題し、研修会を開催しました。

後藤様は、ご自身の地元である北海道十勝の活性化に長年取り組んでおられ、ご自身の経験、携わった事業についてご説明いただきました。そのなかで、野遊び(好きで楽しいこと)であれば、人は時間とお金をかけてわざわざ地方に来てくれること、主役は地域であることを紹介され、後藤様の野遊びに対する熱い思いが伝わる研修会となりました。(表紙に写真掲載)

第13回新型コロナウイルス対策特別委員会の経過報告

特別委員会は、11月10日に開催され、執行部より、感染状況・新型コロナウイルスワクチン接種の現状・地方創生臨時交付金事業について説明がありました。

主なものは以下のとおりです。

◎PCR検査補助金について

- 対象者… 豊前市に住民票を有する方
- 補助内容… 任意のPCR検査及び抗原検査の費用の一部(陰性証明等の文書料を含む)
令和4年1月1日～令和4年3月31日まで、1人3回までの検査が対象
- 補助額… 検査費用等の1/2(1,000円未満は切り捨て)
PCR検査=上限12,000円・抗原検査=上限5,000円

◎新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目接種)について

- 接種開始時期… 2回目接種から概ね8ヵ月以上経過後に接種開始
- 接種完了目標… 令和4年7月頃まで
- ワクチンの種類… ワクチンは、1・2回目接種と同じ製薬会社のワクチン接種が基本

◎新型コロナワクチン接種率(11月4日現在)

豊前市	1回目	2回目
65歳以上	94.45%	93.90%
全人口に対する接種率	79.44%	78.69%



東松島市議会による表敬訪問



東松島市議会の表敬訪問の様子

令和3年11月17日に、宮城県東松島市議会が豊前市を訪れました。東松島市とは、以前からカキの稚貝を頂いたご縁により、東日本大震災以降、豊築漁協からの漁船の寄附・豊前市職員の派遣・災害時相互応援協定の締結・両市イベントの物産販売、また、豊前市の小・中学生が震災復興体験学習に参加するなどの交流が行われています。

青豊高校書道部による「書」の掛け替え



掛け替えした「書」

令和3年12月3日に、青豊高校書道部の部員2人が市議会議員控室と市長室の書作品を掛け替えにされました。前身の築上中部高校時代からの恒例行事で、今年で24回目となります。

議員控室には、吉田 颯姫(よしだ さつき)さんの作品「飛躍」が飾られました。

他議会からの視察受入れ報告

豊前市議会では、市の事例を紹介し、それぞれの自治体で活かしてもらえればと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。令和3年は、以下のとおりです。

令和3年11月11日	佐賀県鹿島市	総務建設環境委員会	8人	老朽危険家屋等除却促進事業
令和3年11月16日	神奈川県葉山町	尚政会・みんなの葉山	4人	森の学校(木質ペレットなど)

編集後記

2022年の幕開けより早くも1ヵ月が過ぎました。

2020年からの2年間は新型コロナウイルス感染対策と新しい生活様式への変化とデジタル化の推進など変動の大きい年となりました。

豊前市にとっては少子化の影響もあり、昨年11月には2027年を目標に豊前市立小学校の10校を2校、中学校の4校を1校、新たに義務教育学校1校を新設する再編計画が発表されました。

今後の豊前市の明るい未来を切り開く為にも市議会の役割として市民の声を市政へ届けてまいります。

この一年が皆様にとって幸多い年になりますよう願っています。

為藤 直美

次回の定例市議会は
3月です

新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止のため、傍聴につきましては、当面の間、自粛いただきますようお願いいたします。詳しくは議会事務局へお問合せください。本会議については、インターネット中継しております。

豊前市議会

検索

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：為藤直美
委員：村上勝二 郡司掛八千代
秋成英人
- 印刷 築上印刷有限会社